

【複数台で給管鳥を使用する場合の設定方法：サーバーPCがWindows7以降のパソコンの場合】

給管鳥は、データベースが配置されている他のコンピュータに接続することができます。これにより、複数のパソコンから一つのデータへと接続し、編集することが可能となります。

※院内のネットワークなどを利用する場合を想定して設定方法を記載しています。

【接続先であるサーバーPCの設定（Windows7、8（8.1）、10の場合）】

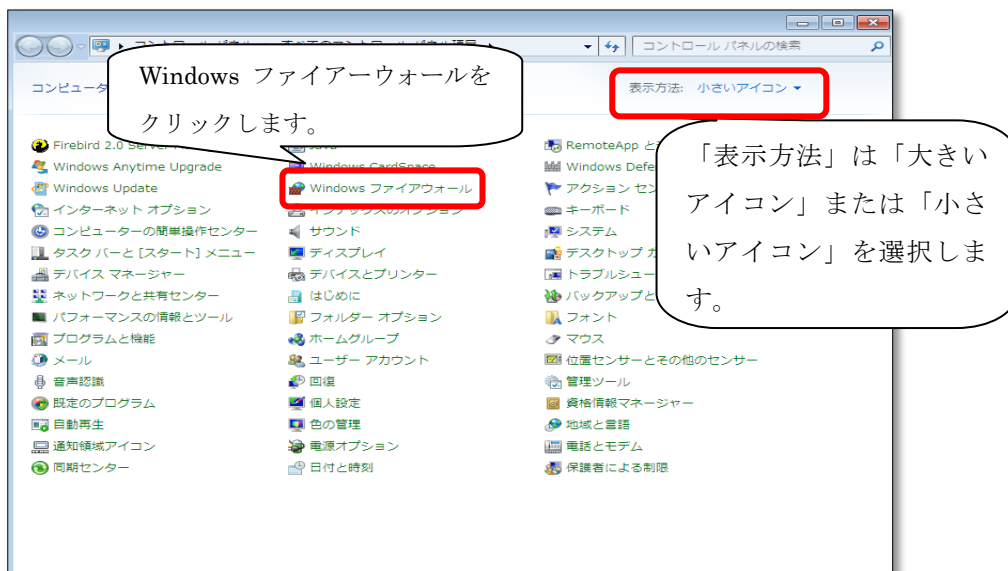
1.

Firebird のポートの設定をおこないます。

Windows [スタート] → [コントロールパネル] を選択します。【コントロールパネル】画面を表示させ、[Windows ファイアーウォール] をクリックします。

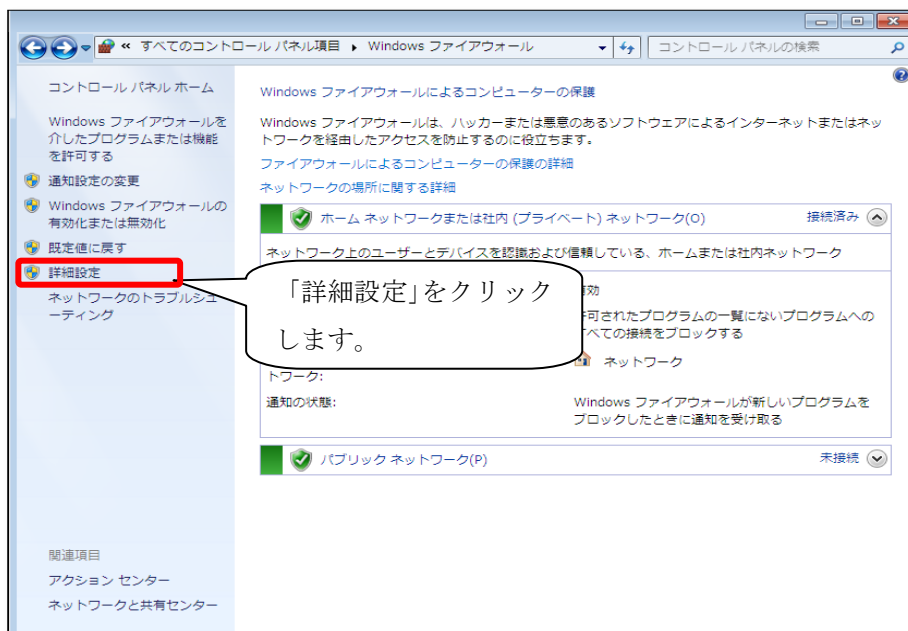
※

【コントロールパネル】の表示方法は「大きいアイコン」または「小さいアイコン」を選択してください。



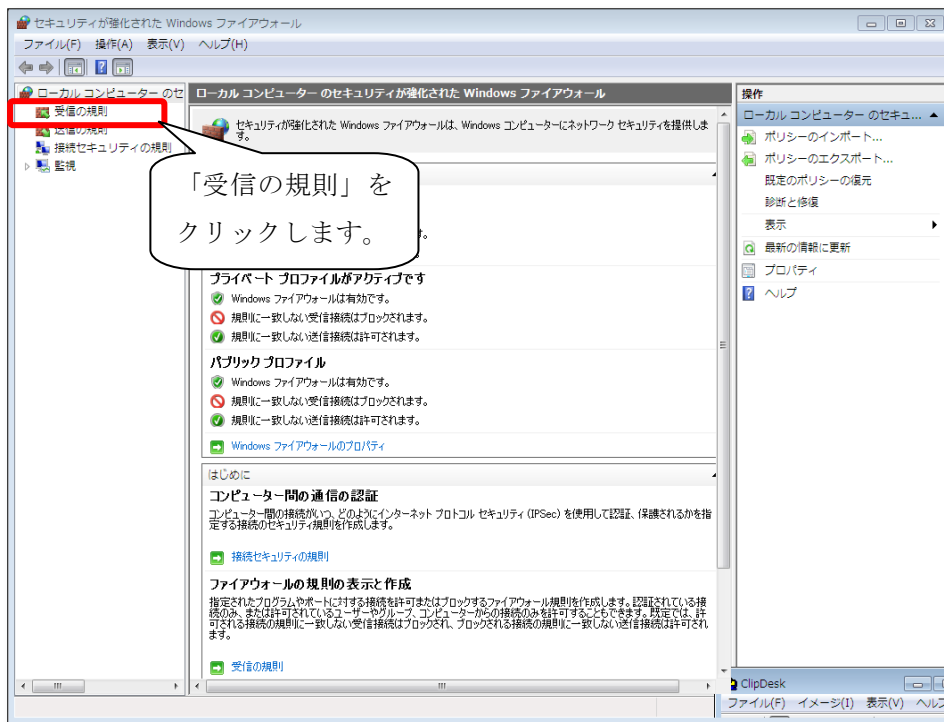
2.

【Windows ファイアーウォール】画面が表示されたら、[詳細設定] をクリックします。



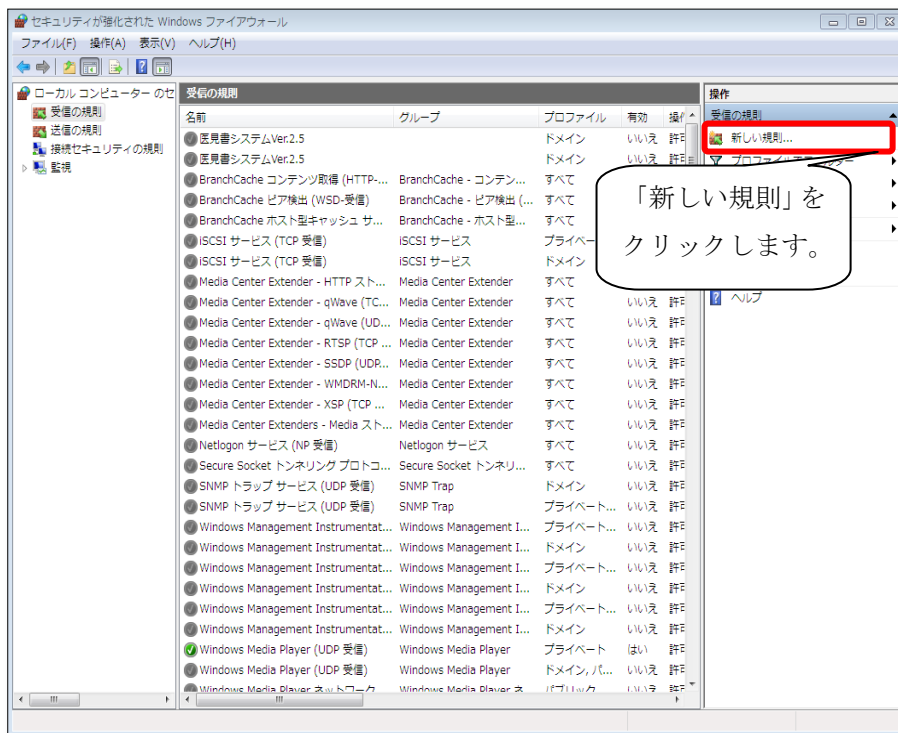
3.

【セキュリティが強化された Windows ファイアーウォール】画面が表示されますので、
[受信の規則] をクリックします。



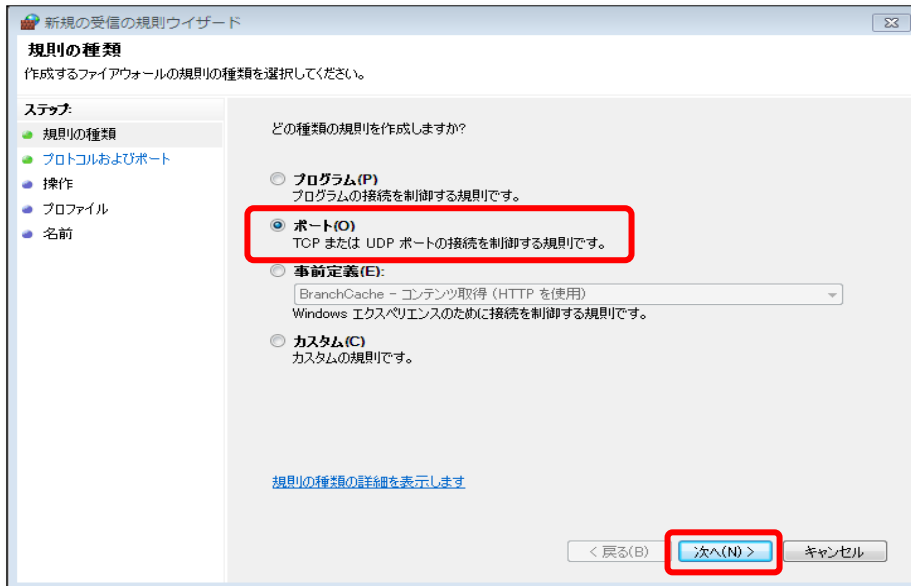
4.

「受信の規則」が表示されます。[新しい規則] をクリックします。



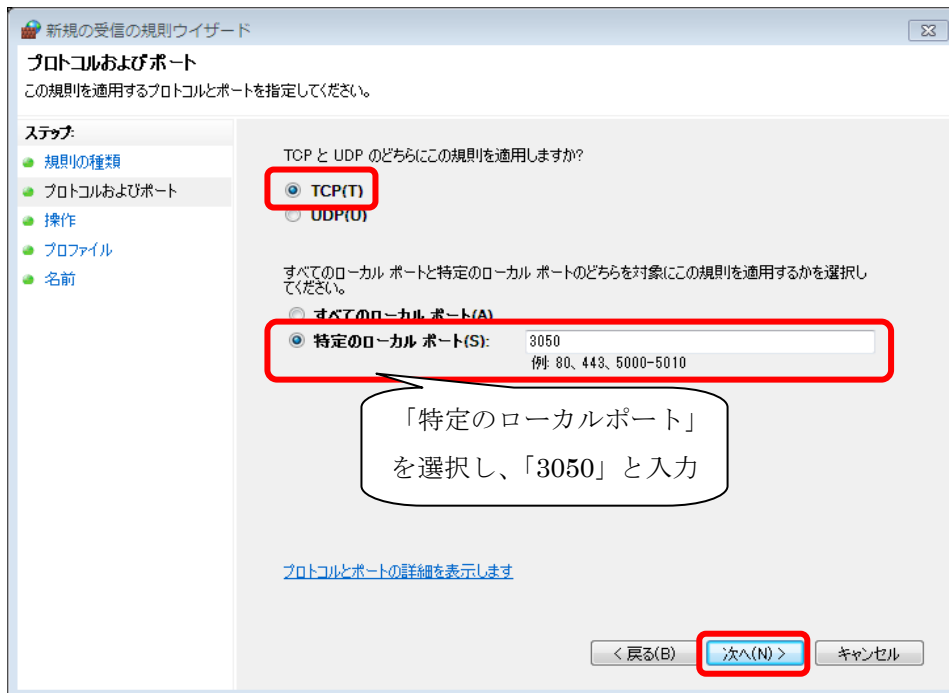
5.

【新規の受信の規則ウィザード】画面が表示されます。まず、「規則の種類」で「ポート」を選択し、[次へ] をクリックします。



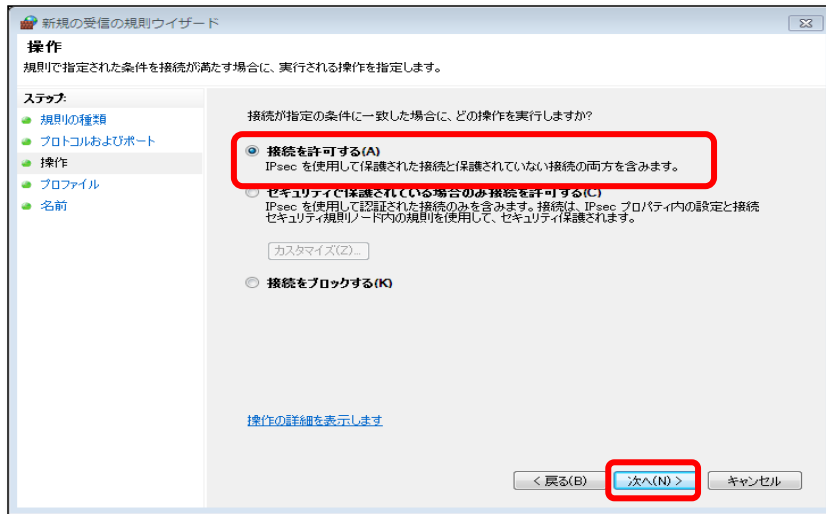
6.

「プロトコルおよびポート」が表示されますので、「TCP」を選択し、「特定のローカルポート」を選択、右横の空欄にポート番号である「3050」と入力し、[次へ] をクリックします。



7.

「操作」が表示されます。「接続を許可する」を選択し、[次へ] をクリックします。



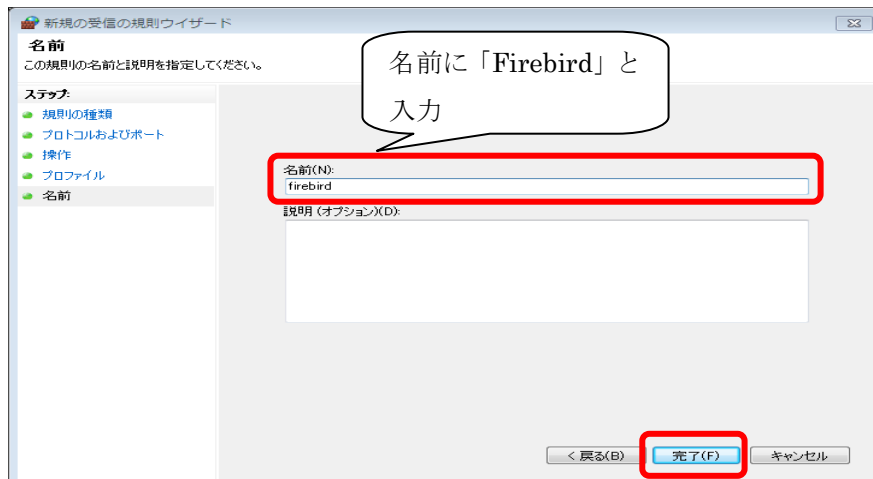
8.

「プロファイル」が表示されます。すべてにチェックがついているのを確認し、[次へ] をクリックします。



9.

「名前」が表示されますので、「名前」に「firebird」と入力し、[完了] をクリックし、開いている画面をすべて閉じてください。



以上で、接続先 PC の設定である [Firebird のポートの設定] は終了となります。
併せて、クライアント PC にインストールされている給管鳥にて入力する必要のある、
IP アドレスもご確認ください。

【IP アドレスの確認方法】

1.

【Windows7 の場合】

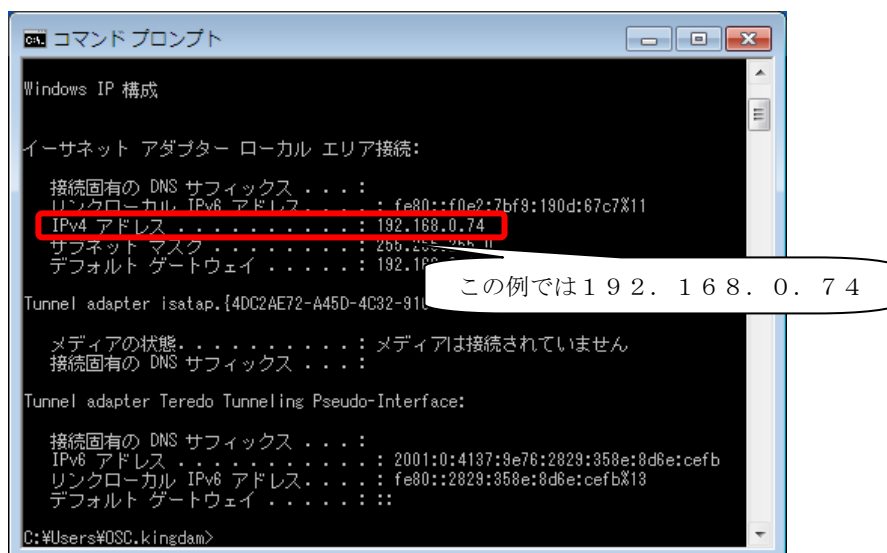
Windows [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] より、[コマンドプロンプト]
をクリックしてください。

【Windows8 (8.1)、Windows10 の場合】

Windows [スタート] ボタンを右クリックし、[コマンドプロンプト] をクリックしてください

2.

[ipconfig] と入力後、[Enter] を押下することで、IP アドレスの確認がおこなえます。



【接続元であるクライアント PC の設定】

1.

【メインメニュー】 → [その他機能] をクリックします。



2.

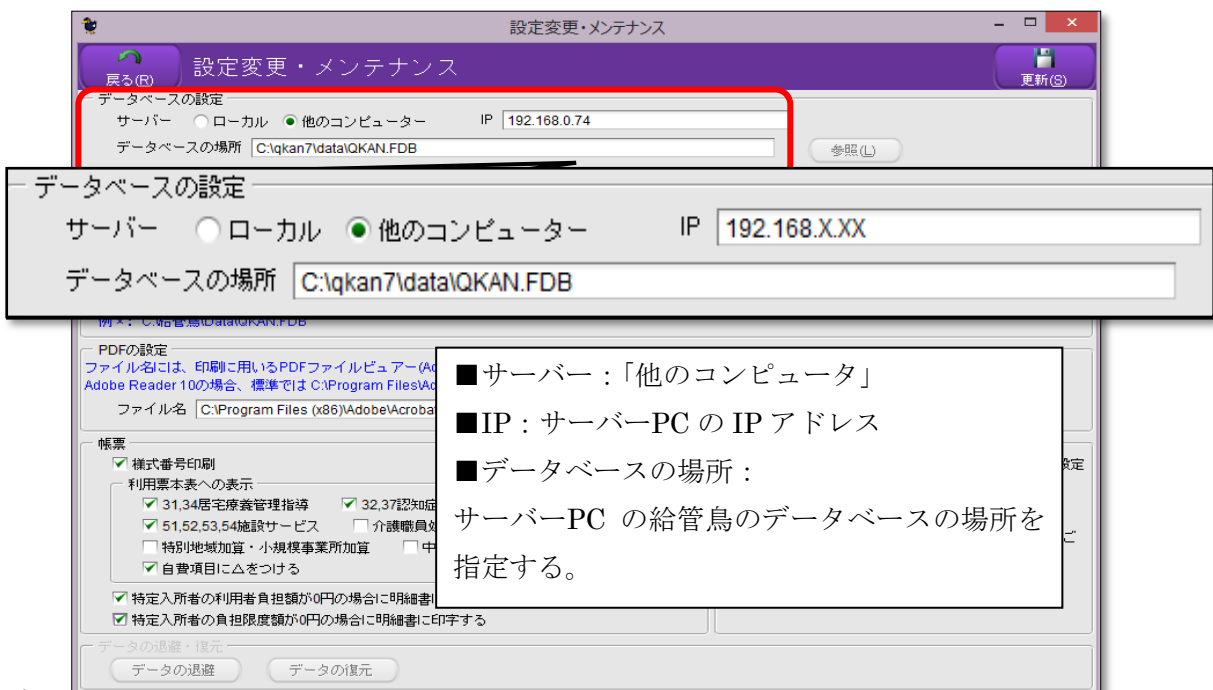
「設定変更・メンテナンス」をクリックします。



3.

【設定変更・メンテナンス】画面が表示されます。データベース設定から [他のコンピュータ] にチェックを入れ、サーバーとなるパソコンの IP アドレスを入力してください。また [データベースの場所] には、サーバーとなる PC の給管鳥のデータベースの場所を指定してください。

※サーバーとなる PC 上で給管鳥を起動させ、【メインメニュー】 → [その他の機能] → [設定変更・メンテナンス]にてデータベースの場所を確認できます。



4.

「設定 (S)」をクリックすることで、共有設定は完了となります。